

有害性評価書

No. 49 (有害性)

ジアゾメタン (Diazomethane)

目次

本文	1
別添 1 有害性総合評価表	3
別添 2 有害性評価書	4

2010年6月

厚生労働省

化学物質のリスク評価検討会

1 物理的性状等

(1) 化学物質の基本情報

名称：ジアゾメタン

別名：アジメチレン、ジアジリン

化学式：CH₂N₂

分子量：42.04

CAS 番号：334-88-3

労働安全衛生法施行令別表 9 (名称を通知すべき有害物) 第 203 号

(2) 物理化学情報

1) 物理的・化学的性状

外観：黄色の気体	引火点 (C.C.)：引火性ガス
比重 (水=1)：1.45	発火点：100 °C
沸点：-23 °C	溶解性 (水)：反応する
蒸気密度 (空気=1)：1.4	換算係数：1ppm = 1.72 mg/m ³ (25 °C)
融点：-145 °C	1mg/m ³ = 0.58 ppm (25°C)

2) 物理的・化学的危険性

- ア 火災危険性：引火性がきわめて高い。多くの反応により、火災や爆発を生じることがある。火災時に刺激性もしくは有毒なフェームやガスを放出する。
- イ 爆発危険性：気体/空気の混合気体は爆発性である。
- ウ 物理的危険性：この気体は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがある。遠距離引火の可能性はある。
- エ 化学的危険性：衝撃、摩擦、または振動を加えると、爆発的に分解することがある。100°Cに加熱、粗面との接触、希釈していない液体または濃溶液中に不純物や固体が存在する場合、あるいは高強度の光の下で爆発することがある。アルカリ金属、硫酸カルシウムと接触すると爆発を引き起こす。

(3) 生産・輸入量／使用量／用途

生産量：報告なし

輸入量：報告なし

用途：実験室でのメチル化剤

製造業者：報告なし

2 有害性評価（詳細を別添1及び別添2に添付）

（1）発がん性

○発がん性：ヒトに対しておそらく発がん性がある

根拠：ACGIHがマウスの試験での肺の腺腫の発生、ラットの試験で呼吸器の腺腫及び扁平上皮がんが発生したことから限定的ではあるが、矛盾のない証拠であるとしてA2に評価している。IARCは1987年にGroup3と評価しているが、ACGIHが1995年にA2に評価しているため後者を採用した。

○閾値の有無の判断：不明（情報なし）

（2）発がん性以外の有害性

○急性毒性：報告なし

○皮膚腐食性／刺激性：報告なし

○皮膚感作性：報告なし

○生殖毒性：報告なし

（3）許容濃度等

○ACGIH TLV-TWA 0.2ppm

（4）評価値

○一次評価値：評価値なし

発がん性の閾値の有無が不明な場合であり、定量的なリスクの判定ができないことから、一次評価値なし。

○二次評価値：0.2ppm（ACGIH）

米国産業衛生専門家会議（ACGIH）が提言しているばく露限界値（TLV-TWA）を二次評価値とした。